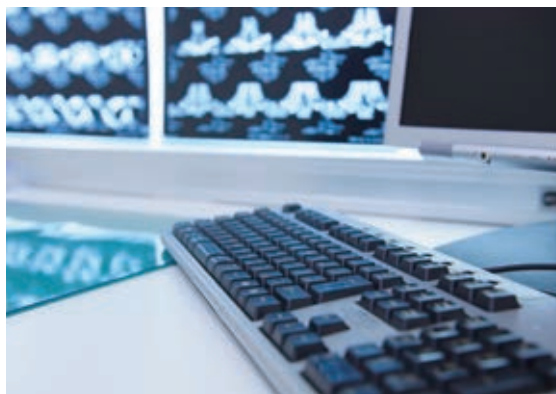


# データサイエンス教育研究活動に対する ご支援のお願い



ビジネス、教育、医療・健康、気象などあらゆる分野のビッグデータに潜む  
情報を「見える化」し価値創造につなげる

日本初

— データから新たな価値を創造する —

## データサイエンス学部

平成 29 年 4 月 誕生



# 滋賀大学

## 日本初の「データサイエンス学部」と データサイエンス教育研究推進へのご支援のお願い

今般、滋賀大学は、我が国の今後の発展のために不可欠な「価値創造のための新たな科学」である「データサイエンス」の教育研究を推進し、今日社会の様々な分野で集積されている膨大なデータから新たな知見を引出し、ビジネスなどの意思決定に活かして価値を創造することのできる人材、データサイエンティストの育成に取り組むことといたしました。

今世紀に入り、情報通信技術は飛躍的な発展を遂げてきました。今や経済社会のあらゆる領域において、様々な種類のデータが日々刻々と生成され、その蓄積・集積が進み、いわゆる「ビッグデータ」時代はさらに進化を続けています。

一方、我が国では、欧米等と比較し、データ分析のスキルを有する人材や統計科学を専攻する人材が極めて少ないのが現状です。多くの民間企業もこうした人材の不足を痛感しており、危機的な状況にあると指摘されています。そのため、データサイエンティストの育成は、我が国の喫緊の課題です。

このような社会的背景を踏まえ、滋賀大学は、平成 29 年 4 月に日本初の「データサイエンス学部」を設置すべく、諸準備を進めております。

同学部では、データを収集、加工、処理するための情報技術、またそれらデータを分析、解析するための統計技術に加え、ビジネスや政策など多様な領域における課題を読み取り、データ分析による知見を様々な意思決定に活かし課題を解決していく、価値創造スキルを身に付けた人材の養成を目指しています。

この日本初の「データサイエンス学部」の誕生に先駆け、本学では本年 4 月に「データサイエンス教育研究センター」を設置しました。

今後、企業の皆様や、政府・自治体、他大学等と共同研究や価値創造プロジェクトなど多様な連携を推進し、日本に相応しい新しいデータサイエンス教育プログラムを創り出すとともに、データサイエンスに係る「我が国初の教育研究拠点」を形成し、日本におけるデータサイエンスの普及、社会のための人材育成などに貢献してまいります。

本学では、今後の我が国に不可欠なこうした取組みを強力に推進するため「データサイエンス教育研究基金」を設けております。

つきましては、本基金設立の趣旨にご理解とご賛同をいただき、特段のご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

滋賀大学

学 長 位 田 隆 一

データサイエンス教育研究センター長  
竹 村 彰 通

# ■ 「データサイエンス教育研究基金」のご案内

我が国初のデータサイエンス領域に係る教育研究拠点としての様々な活動  
： 教育研究、社会連携の推進、国際シンポジウムの開催、  
教育研究環境の整備などに活用させていただきます。

## ■ ご寄附の方法 ■

### 1. 寄附申込書の提出のお願い

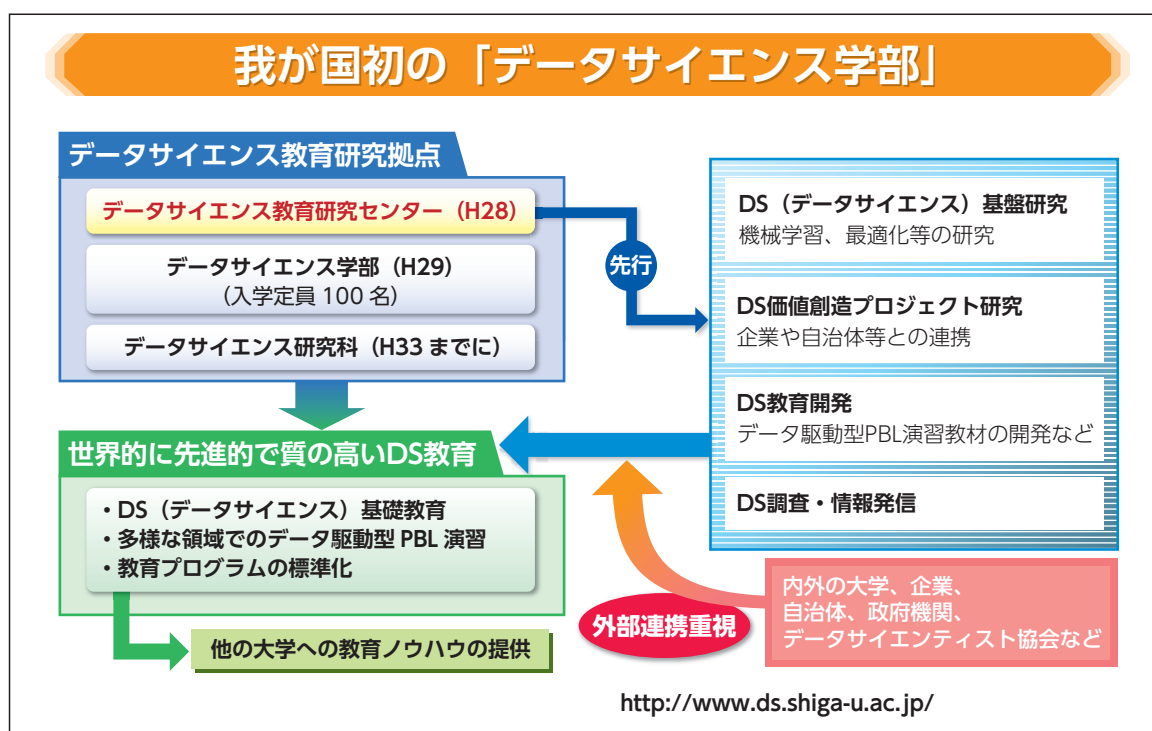
別紙申込書をご記入いただき、本学あて郵送、FAX送信又はメール送信をお願いします。

### 2. 寄附金のお振り込み

別紙掲載の基金口座へお振り込みをお願いします。

(寄附金の入金確認後、「寄附金領収証明書」をお送りいたします。)

(ご参考：データサイエンス教育研究体制の概念図)



---

## 寄附金に対する税制上の優遇措置

---

本基金への寄附金は、大学へのご寄附として、下記の基準により個人又は法人の所得から控除され、税制上の優遇措置を受けることができます。

### 個人の場合

寄附金が2千円を超える場合、その超えた金額が当該年の所得から控除されます。

(所得税法第78条第2項第2号)

### 法人の場合

ご寄附いただいた寄附金は、全額、損金算入が可能です。

(法人税法第37条第3項第2号)

この優遇措置を受ける手続きは、寄附された翌年の確定申告期間中に、本学が発行する「寄附金額収証明書」を添えて、所轄税務署に確定申告をしてください。

---

### ◆お問い合わせ先◆

国立大学法人滋賀大学基金室

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1-1

T E L 0749-27-1005

F A X 0749-27-1129

E-mail kikin@biwako.shiga-u.ac.jp